

本機の特徴 EX オペレーティングシステム

2つのチャンネル (A-ch と B-ch) を使って連絡を円滑におこなう (STR オンデマンド)

デュアル受信方式のSRFD51/SRFD55は、A-chとB-chのどちらかのチャンネルが通話に使われていても、もう片方のチャンネルで通話ができますので、緊急時もスピーディに効率的な連絡を行うことができます



混信があってもメンバー全員がチャンネルを自動で移動 (テレポート機能)

SRFD51/SRFD55は合計8チャンネル (2つの通話チャンネルA-ch/B-chと、6つの予備チャンネルT1~T6) の中から、2つの通話チャンネル (A-chとB-ch) を使って通話を行い、6つの予備チャンネルを準備しています。混信が起きたときは一人がテレポートキーを押せば、メンバー全員が混信が起こりにくい予備チャンネルへ自動で移動して通話続けることができます

現場の電波状況を分析して混信が起こりにくいチャンネルを準備する (エリアリサーチ機能)

エリアリサーチ機能は、あらかじめそのエリアの電波の混み具合を分析しA-ch、B-ch、T1~T6の全てのチャンネルを混信の少ないチャンネルに設定することができます

充電をする (充電時間は約3時間)

SAD-50A ACアダプタ
SBH-59を10台連結して10台同時に充電可能

SDD-20 シガープラグ付きDCアダプタ
SBH-59を6台連結して6台同時に充電可能

SAD-35A ACアダプタ
SBH-59を連結して使用することはできません

SBB-20 シガープラグ付きDCアダプタ
SBH-46を3台連結して6台同時に充電可能 ※USB端子未使用時

SBH-46 デスクトップ2ポケット充電器スリーブ
市販のUSB Type-C 充電器 (1A以上) に接続します

MCU-50 充電器スリーブ
市販のUSB Type-C 充電器 (1A以上) に接続します

SCU-65 USB充電ケーブル Type-C - Type-C

赤色点灯: 充電中
緑色点灯: 充電完了
赤色点滅: 充電エラー

●使用可能時間: 20時間以上 (交互通話、送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒の繰り返し運用を想定)

送信するとき

アクセスキーを一回押してスピーカに向かって話します

または アクセスキーを押しながらスピーカに向かって話します

アクセスキーを押しながらスピーカに向かって話します

話すのをやめると自動で“ビピ”と音がして受信に戻ります

まわりの声や騒音などで、話が終わっても受信に戻らないときがあります。もう一度アクセスキーを押せば受信に戻ります

受信するとき

ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します

佐藤さん 応答願います

各部の説明

アクセスキーの操作

送信する時に押しします

ワンクリック ハンズフリーオペレーション

短押し: 送信状態になり、話している間はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるか、再度アクセスキーを押すと受信に戻ります

長押し: 押ししている間は送信を続け、放すと受信に戻ります

※イヤホンやスピーカマイクを接続している時は、送信中に「ブ...ブ...」と音が鳴って送信状態であることがわかります

※タイムマイクを使用時に、誤って送信/受信が切り替わらないようにアクセスキーを無効にすることができます

機能設定項目 **F-06** を “OFF” にしてください

アクセスキーは機能設定項目 **F-01** で好みにあわせて操作方法を変えることができます

受信中に2つの音声に聞こえたときは、音声を聞きながらアクセスキーを押すと片方の音量を調節することができます

PCA機能

アクセスキーを押すたびに音量が以下のようになります

A-chとB-ch同じ音量になる

A-chの音量が下がる

B-chの音量が下がる

※タイムマイクのキーでも操作できます

CUE キーの操作

構内アナウンスする

CUEキーを押しながら話す、中継器EXR100Aや構内アナウンス用ワイヤレススピーカPSU10のスピーカから音を出すことができます。構内アナウンスで使うときはあらかじめ、機能設定項目 **F-21** を “ON” にしておきます

中継器使用時に中継器を使わずに通話をする

ローカル通話機能

中継器を使用して通話を行っているときでも、CUEキーを押しながら話すとき近くにいるメンバーと中継器を使わないローカル通話ができます。ローカル通話機能は、アクセスキーを押すと中継チャンネル (A-ch) で送信、CUEキーを押すとローカル通話チャンネル (B-ch) で送信します

・ローカル通話機能を使う時はあらかじめ、機能設定項目 **F-17** を “RPF+” または “RPF” にしておきます

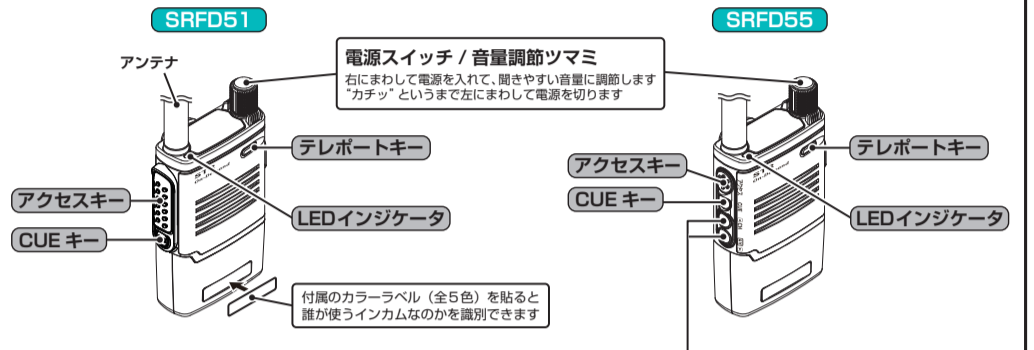
テレポートキーの操作

混信がある時に長押しします

メンバー全員が混信が起こりにくいチャンネルへ自動で移動します

・他のメンバーと通話できない時は、自分のチャンネルが同期されていない場合がありますので、テレポートキーを短押しします

・特定のメンバーとだけ通話できない場合は、そのメンバーのチャンネルが同期されていない場合がありますので、CUEキーとテレポートキーを同時に押しします



チャンネルの表示

A-ch表示例 (05ch) B-ch表示例 (10ch) チャンネル非表示例

チャンネルを非表示にする時は“A”または“B”だけが表示されます

SRFD55でチャンネルを表示する時は、インカム側面の **▲/▼** キーを長押しします

SRFD51でチャンネルを表示する時は、機能設定項目 **F-24** を “D ON” にしてください

▲/▼キーの操作 (SRFD55のみ)

機能設定モードでは、設定項目や設定値の選択キーとして使えます

▲キー 短押し: 送信チャンネルを切り替えます。送信チャンネルが使われているときにアクセスキーを押すと自動で使われていないチャンネルで送信します

長押し: A-ch、B-chを手動で変えることができます

※チャンネルを変えたときはエアクローンで他のSRFD51/SRFD55と新しいチャンネルを共有するか全てのインカムを手動で同じチャンネルに変えてください

▼キー 短押し: 画面表示を上下逆にする

長押し: チャンネル番号を非表示にします。もう一度長押しするとともに戻ります

LED インジケータ

赤点灯: 送信中

赤点滅: グループIDおよびテレポート機能設定を変更中

ホットライン送信中および受信中

緑点灯: 受信中

緑点滅: 異なるグループID番号の信号を受信したとき (音声はミュートになっています)

赤と緑の点滅: エリアリサーチ機能動作中

オレンジ点滅: 構内アナウンス機能送信中

個別の設定を変更中

赤の速い点滅: チャンネルが使用中で送信できないとき

バッテリーの残量表示

残量表示 (満充電時は表示されません)

表示: 多い (満充電) → 少ない (残量少)

点滅 (充電または交換してください)

バッテリー使用可能時間の目安 20時間以上

単機方式 (交互通話) で、送信6秒: 受信6秒: 待ち受け48秒の繰り返しによる運用を想定

便利な機能

デュアル受信 (A-ch と B-ch) で連絡を円滑に行う (STR オンデマンド)

●A-chで混信があってもB-chで連絡が可能で送信が自動でA-chからB-chへ切り替わります

●片方のチャンネルが通話に使われていても別のチャンネルで通話ができます

自動でB-chに切り換わり通話ができます

自動でA-chで送信

自動でB-chに切り換わり通話ができます

自動でA-chで送信

混信がある時にテレポートキーの長押しで A-ch、B-ch のチャンネルを自動で予備チャンネルと入れ替える (テレポート機能)

例: A-ch: 05 B-ch: 10 で使用中

一人がテレポートキーを長押しします

全員が混信が起こりにくい新しいチャンネルで通話を開始

テレポート前

テレポート後

予備チャンネル T1~T6

●混信が多いときは画面に “TP” が表示され、テレポート機能を使ってチャンネルを変えることを推奨します

●テレポート機能は、中継器使用時は使用できません

CUE (キュー) 機能でメンバーに合図を送る

CUEキーを短押しすると、メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます

短押し

ビピ!

画面の表示を180度回転させる

インカムをベルトに取り付けている場合に、画面の表示を回転させて見やすくすることができます

SRFD55の場合

▼キーを短押しします。▼キーを短押しするたびに表示が回転します

SRFD51の場合

機能設定項目 **F-24** を “DREV” にすると画面が回転します “D ON” にすると元に戻ります

チャンネル表示を消す

チャンネル番号の表示を消すことができます

SRFD55の場合

▼キーを長押しします。もう一度▼キーを長押しすると、チャンネル番号が表示されます

SRFD51の場合

機能設定項目 **F-24** を “D OFF” にするとチャンネル番号の表示が消えます。 “D ON” にするとチャンネル番号が表示されます

単三型アルカリ乾電池で使う

アルカリ乾電池3本で使うことができます (オプションの “SBT-18” が必要です)

①フタを開けます

②乾電池を入れてフタをしっかりと閉めます

③カチッというまでスライドさせます

電池ケースの出しかた

①ロックノブを上スライドさせて

②左にスライドさせます

タイピンマイク、イヤピースプラグの接続/取り外し

接続

奥までしっかり挿し込む

取り外し

ロックノブを上スライドさせる

プラグを抜く

タイピンマイクやイヤピースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

クイックリリースホルスターの使いかた (SBH-33 (SBR-51LI 対応)、SBH28 (SBR-42LI 対応))

取り付けかた

ホルスターにはめ込む

取り外しかた

押しながら外す

アームバンドの使いかた (SHA-10)

付属のネジで取付用金具を取り付けます

バンドをバックルに通して腕に装着します

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す (リセット)

CUEキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます

短押し (一方)

短押し (+方向)

短押し (-方向)

点滅しています

SRFD55は▲/▼キーでも選択できます

テレポートキーまたはCUEキーを短押しして9-RSTを選びます

工場出荷時の状態に戻ります

工場出荷時の設定ではグループID: 00、A-ch: 05、B-ch: 10に設定してあります

定格

送受信周波数 (12.5kHz ステップ)

交互通話 (単信) 422MHz 帯 (20ch)

中継通話 (半復信) 421MHz 帯 / 440MHz 帯 (27ch)

電波方式: F3E, F2D

通信方式: 単機方式および半復信方式

送信出力: 10mW以下 / 1mW以下

受信感度: -15dBμV以下 (@12dB SINAD)

低周波出力: 内蔵スピーカ 700mW以上 (@8Ω, 10% 歪時)

動作温度範囲: -10℃~+50℃

定格電圧: DC 3.6V (リチウムイオンバッテリー)

DC 4.5V (単三乾電池3本)

寸法: 約 58 (幅) × 83 (高さ) × 23.5 (奥行き) mm (SBR-51LI 装着時、アンテナおよび突起部を含みます)

重量: 約 165g (SBR-51LI 装着時)

防塵・防水: IP68*

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります

*IEC (国際電気標準会議) に基づく粉塵や湿気に関する保護等級

防塵性: IP6X (耐塵形) 粉塵の侵入から完全に保護されていること

防水性: IPX8 (水中形) 真水/静水に水深1.5mの位置で30分浸しても機器の動作に影響をおよぼさないこと

RoHS 指令準拠

エリアリサーチ機能が準備した混信の少ないチャンネルへ移動する

エリアリサーチ機能は、全てのチャンネル(全20チャンネル)の電波状態を分析して、混信が起こりにくいチャンネルを準備します

① 1台のSRFD51/SRFD55でエリアリサーチを始める

- ① 一台のSRFD51/SRFD55のアクセスキーを押しながら電源を入れます。“A-RSC”が表示されます
- ② そのままの状態ではしばらく放置します
- ③ 一度電源を切ります

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“A-RSC”が点滅表示

赤と緑で点滅

“A-RSC”が点滅表示

ツマミをまわして電源を入れます

そのままの状態ではしばらく放置します

エリアリサーチ機能が電波の使用状況を自動的に分析

- ・時間が長いほど、混信のあるチャンネルを見つけることができます
- ・途中で電源を切っても、今までの電波状況は蓄積されています
- ・途中でCUEキーを長押しすると今まで蓄積された電波状況は消去されます

一度電源を切ります

ツマミをまわして電源を切ります

CUEキー

② エリアリサーチで準備した新しいチャンネルを他のSRFD51/55に移行する

- ① エリアリサーチしたSRFD51/SRFD55のアクセスキーを押しながら電源を入れます。“A-RSC”が表示されます
- ② グループで使う他のSRFD51/SRFD55のテレポートキーを押しながら電源を入れます
- ③ “A-RSC”が表示されているSRFD51/SRFD55のアクセスキーを長押しします。全てのSRFD51/SRFD55がエリアリサーチで選んだ新しいチャンネルグループになります
- ④ 全てのSRFD51/SRFD55の電源を切って設定を終了
- ⑤ 再度電源ツマミをまわして電源を入れて使用します

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“A-RSC”が点滅表示

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“A-RSC”が点滅表示

準備したチャンネルを送信します

“TX”が点滅します

全てのSRFD51/SRFD55は新しいチャンネルで通話できるようになっています

表示例

A-ch	: 16ch
B-ch	: 02ch
T1	: 01ch
T2	: 12ch
T3	: 17ch
T4	: 19ch
T5	: 07ch
T6	: 09ch

ツマミをまわして電源を切ります

再度電源ツマミをまわして電源を入れて使用します

もし通話ができないときは

- ① 全てのSRFD51/55でテレポートキーを押しながら電源を入れます
- ② 一台のSRFD51/55のアクセスキーを長押しして全てのSRFD51/55のチャンネル設定を自動で合わせます
- ③ 全てのSRFD51/55の電源を切って設定を終了

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを長押ししてツマミをまわして電源を入れます

グループIDとチャンネル情報が送信されます

“TX”が点滅します

ツマミをまわして電源を切ります

グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える

グループIDを使えば、IDが異なる他のグループの信号は自動でミュートされます。A-chで混信を受けても自動でB-chで混信を気にせずに通話することができます



出荷時はグループIDが“00”になっています。(他のグループの声が聞こえるような場合はグループIDを変えてください)

1台の設定内容を変更する

- ① テレポートキーを押しながら電源を入れます
- ② テレポートキーを短押しするとID番号が表示されます
- ③ テレポートキーを長押しします
- ④ テレポートキーまたはCUEキーを短押ししてID番号を“00”から“99”の間で変更します
- ⑤ テレポートキーを長押しして決定します

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

テレポートキーを短押ししてID番号が表示されます

“ID 00” ~ “ID 99”のいずれかが表示されます

テレポートキーを短押ししてID番号を変更します

数字部分が点滅します

テレポートキーまたはCUEキーを短押ししてID番号を“00”から“99”の間で変更します

SRFD55は▲/▼キーでも選択できます

テレポートキーを長押しして決定します

他のSRFD51/SRFD55へ変更内容をコピー(エアクローン)する

- ⑥ グループで使う他のSRFD51/SRFD55のテレポートキーを押しながら電源を入れます
- ⑦ ID番号を変えたSRFD51/SRFD55のアクセスキーを長押しします
- ⑧ 全てのSRFD51/SRFD55の電源を切って設定を終了

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを長押ししてID番号を送信します

グループIDが送信されます

“TX”が点滅します

ツマミをまわして電源を切ります

●グループIDが違うと通話できませんのでご注意ください

マニュアルでA-ch、B-chのチャンネルを変える(通常は変更する必要はありません)

(チャンネルを変えた後は、他のSRFD51/SRFD55に新しいチャンネルをコピー(エアクローン)するが個々に同じチャンネルを設定してください)

① ▲/▼キーでA-ch、B-chのチャンネルを変える(SRFD55のみ)

1台のチャンネルを変更する

- ① 一台のSRFD55で▲キーを短押ししてA-chかB-chを選び▲キーを長押しします
- ② ▲/▼キーを短押ししてチャンネルを変えます
- ③ ▲キーを長押しして決定します
- ④ もう片方のチャンネル(A-chまたはB-ch)を変更する場合は、もう一度①~③の操作を行います
- ⑤ 一度電源を切ります

ツマミをまわして電源を入れます

▲キーを短押ししてA-chかB-chを選び▲キーを長押しします

チャンネルが点滅します

▲/▼キーを短押ししてチャンネルを変えます

チャンネルは01~20から選びます

▲キーを長押しして決定します

もう片方のチャンネル(A-chまたはB-ch)を変更する場合は、もう一度①~③の操作を行います

一度電源を切ります

ツマミをまわして電源を切ります

他のインカムにチャンネルをコピーします

② テレポート機能設定でA-ch、B-chのチャンネルを変える(SRFD51/SRFD55)

1台のチャンネルを変更する

- ① テレポートキーを押しながら電源を入れます
- ② テレポートキーまたはCUEキーを短押しして変更するチャンネルを選びます
- ③ テレポートキーを長押しします
- ④ テレポートキーまたはCUEキーを短押ししながらチャンネルを変えます
- ⑤ テレポートキーを長押しして設定を終了します

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

テレポートキーまたはCUEキーを短押しして変更するチャンネルを選びます

SRFD55は▲/▼キーでも選択できます

▲/▼キーを短押ししてチャンネルを選びます

現在の設定値が点滅します

▲キーを長押しして決定します

チャンネルは01~20から選びます

テレポートキーまたはCUEキーを短押ししながらチャンネルを変えます

SRFD55は▲/▼キーでも選択できます

▲/▼キーを短押ししてチャンネルを変えます

一度電源を切ります

他のインカムにチャンネルをコピーします

他のSRFD51/SRFD55へ変更したチャンネルをコピー(エアクローン)する

- ⑥ 全てのSRFD51/SRFD55でテレポートキーを押しながら電源を入れます
- ⑦ チャンネルを変えたSRFD51/SRFD55のアクセスキーを長押しします
- ⑧ 全てのSRFD51/SRFD55の電源を切って設定を終了

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを長押ししてチャンネルを送信します

チャンネル情報が送信されます

“TX”が点滅します

ツマミをまわして電源を切ります

テレポート機能を変更する(通常は変更する必要はありません)

項目	出荷時の設定	機能
グループID	0000	0000 ~ 0099: “ID 00” ~ “ID 99”の中から選びます
Aチャンネル	A 05	A 01 ~ A 20: “01” ~ “20”の中から選びます
Bチャンネル	B 00	B 01 ~ B 20: “01” ~ “20”の中から選びます
T1 ~ T6	T1 01 T2 02 T3 03 T4 04 T5 05 T6 06	“01” ~ “20”の中から選びます
テレポート機能のON/OFF	TP oN	TP oN: テレポート機能を使うことができます(通常はoNで使います) TP oX: テレポート機能は使えますが、自分からはチャンネル移動ができません TP oF: テレポート機能は動作しません。EXオペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通話ができます

1台の設定内容を変更する

グループID、通話チャンネルのA-ch、B-ch、T1~T6の予備チャンネル、テレポート機能のON/OFFを個別に変更することができます

- ① テレポートキーを押しながら電源を入れます
- ② テレポートキーまたはCUEキーを短押しして設定する項目を選びます
- ③ テレポートキーを長押しします
- ④ テレポートキーまたはCUEキーを短押しして設定値を変えます
- ⑤ テレポートキーを長押しして設定項目に戻ります

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

テレポートキーまたはCUEキーを短押しして設定する項目を選びます

SRFD55は▲/▼キーでも選択できます

▲/▼キーを短押しして項目を選びます

現在の設定値が点滅します

▲キーを長押しして決定します

設定項目が点滅します

SRFD55は▲/▼キーでも選択できます

▲/▼キーを短押しして設定値を変えます

一度電源を切ります

他のインカムにチャンネルをコピーします

他のSRFD51/SRFD55へ変更内容をコピー(エアクローン)する

- ⑥ グループで使う他のSRFD51/SRFD55のテレポートキーを押しながら電源を入れます
- ⑦ 設定を変えたSRFD51/SRFD55のアクセスキーを長押しします
- ⑧ 全てのSRFD51/SRFD55の電源を切って設定を終了

ツマミをまわして電源を入れます

テレポートキーを押しながらツマミをまわして電源を入れます

“RX”が表示されます

ツマミをまわして電源を入れます

アクセスキーを長押しして設定内容を送信します

設定した内容が送信されます

“TX”が点滅します

ツマミをまわして電源を切ります

EXオペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通信

1. テレポート機能のON/OFF設定の“TP oN”を“TP oF”にします
2. A-chまたはB-chを他のインカムのチャンネルにマニュアルであわせませ